

公益財団法人 高知県人権啓発センター 季刊誌

# こころん だより

2020  
冬号  
Vol. 15



こころん



特集1

世界人権デーと人権週間  
～人権について一緒に考えよう～

特集2

こころんの  
社会見学

就農で“必要とされる自分”に  
～安芸市で進む、「農福連携」の取り組み～



# 世界人権デーと人権週間 ～人権について一緒に考えよう～

高知県「2020人権週間」特設サイト <https://www.kochi-humanright.jp/>



# HUMAN RIGHTS WEEK 12/4 ▶ 12/10



12月4日から12月10日は  
「人権週間」です

国際連合は、1948年(昭和23年)12月10日の第3回総会で世界人権宣言を採択し、その日を記念として12月10日を「世界人権デー」と決めました。すべての加盟国及び関係機関が人権擁護活動や人権に関する諸行事を行うことを推進しています。

日本では、毎年12月4日から10日までを「人権週間」と定め、人権尊重思想の普及を図るため、全国的な人権啓発活動を行っています。

ぜひこの機会に皆さんも人権について考えてみてください。

「2020人権週間」特設サイトでは様々な情報を発信しています。

「2020人権週間」特設サイト



コンテンツ①  
マンガで知る「人権のこと」

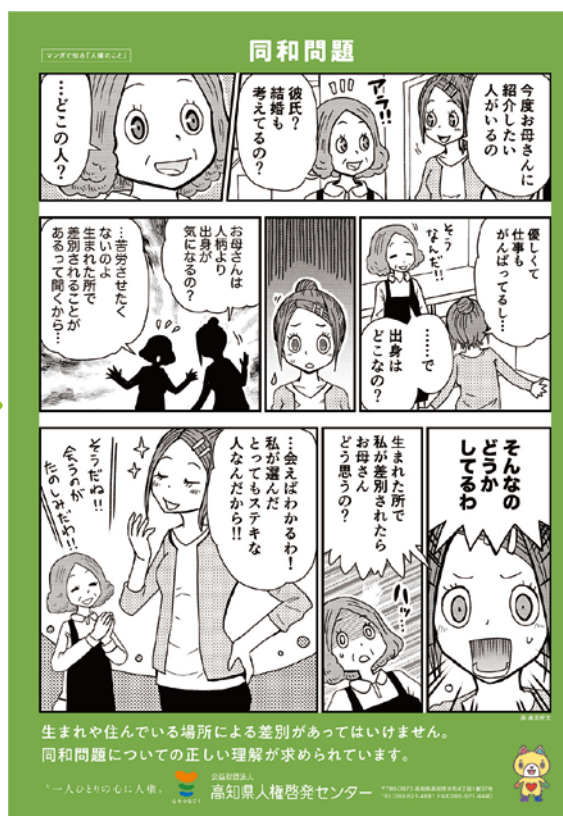
県民に身近な11の人権課題についてマンガで紹介しています。



クリックすると  
マンガが  
出てくるよ!

▼HIV感染者等(新型コロナウイルスについて)

学校などに  
パネルの貸出も  
可能です!



▲ 同和問題



コンテンツ②  
オンラインじんけんフェスタ

YouTube LIVEを利用したオンラインイベントを開催します。

日時:2020年12月6日(日) 14:00~15:00  
内容:メッセージ動画、じんけんトーク&ライブ(出演:う〜み)、2020人権週間オリジナルソング合唱など  
◎動画はアーカイブとして開催日以降も見られます。



コンテンツ③  
SNSでつながろう!

公式FacebookページとTwitterの公式アカウントを開設し、人権啓発メッセージ関連WEBサイトの紹介、イベント情報などを随時発信しています。



人権意識を心の中に育む

コロナ禍は、すべての人が人権の大切さについて考える機会となりました。お互いを思いやり、支えあう人権が大切にされる社会をめざして、私たち一人ひとりが、身近にあるさまざまな人権課題について考えるきっかけとするため、ぜひこの特設サイトをご活用ください。

この記事に関するお問合せ

(公財)高知県人権啓発センター ☎088-821-4681



## 就農で“必要とされる自分”に ～安芸市で進む、「農福連携」の取り組み～

安芸市では、生きづらさを抱えた人の社会参加や生きがいづくりに、行政・福祉・医療・民間組織が連携して取り組み、その結果として農家の人手不足を補い、障害者の就労機会を提供するという「農福連携」の取り組みが進んでいます。その現場をこころんが訪ね、お話を聞きました。



◀ お話してくれた人  
高知県安芸福祉保健所  
健康障害課 公文 一也 さん



▲ 収穫したナスは手作業で袋詰めしていく。  
◀ ナスのハウスで収穫作業。栽培は10月から5月まで続く。

### はじまりは自殺予防 官民、様々な組織がつながりあって

農業と福祉の連携——「農福連携」は、様々な地域課題に取り組んだ結果として生まれたものです。

長い間、高知県は全国でも自殺率が高く、特に安芸福祉保健所管内は県内一、自殺者の多い地域でした。それをなんとかしようと、平成25年に警察、消防、病院、行政、民間組織が連携する自殺予防ネットワークが発足。自殺の根本的な原因解決を目指して、生活困窮や精神疾患、障害、いじめ、虐待など、苦しみや生きづらさを抱えた人たちの支援を開始しました。

その後、農業振興センターからの情報で安芸の農家が人手不足で困っていることを知り、平成30年に「農福連携研究会」を設立。同時に障害者の自立支援協議会に就労支援専門部会を作り、その両輪で農業と福祉のマッチングを開始しました。

### 農家が受け入れ先になり 一般就労とB型事業所も開所

農福連携の第一号となったのは、10年以上ひきこもっていた男性です。社会的な感覚が薄く、身なりには無頓着。でもその彼の生き様そのまま、農業はできます。支援者と一緒に農家に通って働き、6年目となる現在はしっかりと自立。そんなふうには16人ほどが働いていましたが、一般就労が難しい人も多くいました。

そこで奮起してくれたのが、受け入れ先の農家さんたちです。3軒で共同出資し、今年4月、就労継続支援B型事業所「一般社団法人こうち絆ファーム TEAMあき」が立ち上がりしました。

現在、一般就労とこうち絆ファームでの福祉的就労あわせて71名の方が安芸市周辺で働いています。当事者の内訳は、精神障害、発達障害、ひきこもり、身体障害、難病など。病院や行政が連携してバックアップし、就労継続を支援しています。



### 働くことで得られる 仲間との絆や、自己有用感

働くということは、「人として必要とされる」ということです。「今日はありがとう。明日も来てね」と言ってもらえたら、みんな嬉しい。しかも必要とされるだけでなく、収入が得られます。自分の稼いだお金で好きなものが買え、それが生きがいとなって、居場所となる。すごくいい循環です。

またそこでは、当事者同士が支え合うピア活動も自然に生まれます。お互いに相談に乗る。仕事を教えあう。仲間で解決できない時は、私たち支援者に相談が来たりもします。

農福連携は、単なる人手不足の解消ではありません。生きづらさを抱えた人たちの個性や特性が農業にマッチして、それが地域の中でWin-Winの関係を生んでいるのです。



働くみなさんに  
聞いてみました！

Q.「こうち絆ファーム TEAMあき」ってどんなところ？

A. 20代から60代まで、いろんな個性を持った仲間と一緒に働いています。ここで働きたくて安芸に移住してきた人もたくさんいます。



Q. お仕事の内容や雰囲気は？

A. 仕事はナスの栽培や袋詰作業など。仲間同士でいろんなことを教えあったり、悩みを話しあったり、職員さんともすごく仲がいいのが特徴です！

### 誰もが安心して暮らせる地域に

安芸の農福連携の鍵は、様々な組織の「連携」にあります。地域のあらゆる課題——自殺防止だけでなく、施設・病院から地域生活への移行・定着支援、障害者の自立支援、不登校やひきこもりの支援など、様々な分野の担当部局、専門家、支援者、当事者団体がつながりあって一緒に解決策を考えていくことが重要です。最近、ハローワークから安芸福祉保健所に就農斡旋依頼が来たり、地域の不動産屋さんが就労者の入居先・移住先を進んで紹介してくれたり、飲食店から「こんな人がおるけど…」と情報提供があったりと、ネットワークはどんどん広がっています。また、農業だけでなく、炭焼き、酪農、青のり養殖など、就労先も増えてきました。

一本の糸ではなく、縦糸、横糸、たくさんの支援がつながり網目（ネット）になれば、抜け落ちる人は減っていくはず。誰もが安心して生きていける地域を、みんなで作っていきたいと思っています。

地域全体で、多様性を  
認めあい支え合う。  
とっても素敵だね！



#### 発見こころん

働くための  
いろんな工夫があったよ！

◀ 熟練のワザを  
農業用クリップが代行！

枝葉の上に誘引するヒモ結びは高難度。  
でもクリップなら誰でも簡単にできるね！



◀ ハウスの農閑期には  
オクラを収穫！

ナスの農閑期にはオクラを栽培。仕事が途切れて引きこもらないための取り組みなんだって。



### 高知県 健康政策部 安芸福祉保健所

所在地：安芸市矢ノ丸1丁目4-36 高知県安芸総合庁舎  
TEL:0887-34-3177 (健康障害課)  
FAX:0887-34-3170 (健康障害課)  
E-mail: 130111@ken.pref.kochi.lg.jp

福祉保健所は、保健・医療・福祉・介護に関することについて、なんでも気軽に相談できる行政の窓口。安芸福祉保健所は、東部地域(室戸市、安芸市、東洋町、奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村、芸西村)を管轄しています。

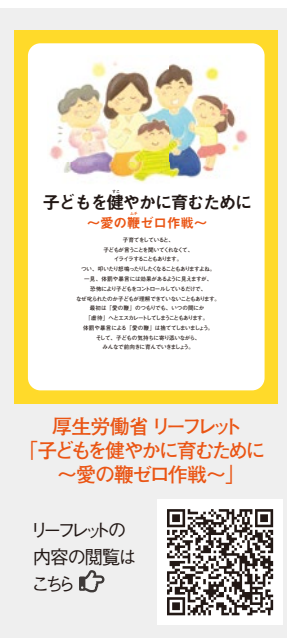


## 第2回 ハートフルセミナー

講演会「子ども虐待のない社会をつくるために  
～叩かない子育てを応援する～」を行いました

実施日：令和2年10月25日(日) 14時～16時 / 参加者：70名  
 講師：高祖常子さん(認定NPO法人児童虐待防止全国ネットワーク理事)  
 会場：高知県立人権啓発センター6階ホール

講師の高祖さんは、保育士や幼稚園教諭・子育てアドバイザー等の資格を持ち、NPO法人ファザーリング・ジャパンをはじめ多くの団体の理事を務める傍ら、全国各地で子育てに関する活動をされています。講演会では、子どもを叩いたり怒鳴ったりせずに、子どもを育てていく子育て法について事例も交えてわかりやすく説明されました。また、保育者(保護者)自身がなぜ叩いたり怒鳴ったりすることがよくないのかを知り、怒りが爆発しそうになった時の対処法や子どもと向き合うポイントなどを簡単なワークショップも行いながら考えました。



## 参加者の声より

- 感情、気持ちの引き出しを増やすこと。どんなことでも共通することなのかなと感じました。
- 最近子どもとの関わり方の難しさを感じていましたが、私自身の余裕のなさも一つの原因かな…と思いました。アンガーマネジメント、参考にしたいです。
- 虐待と普段の子育てはほとんどの場合かけ離れていると思っていましたが、親の子どもに対する人権意識の差で、子どもの成長は著しく変わりうること、親子関係の幸福度も変わるのだと感じました。
- 1つのシチュエーションについて立場を変えて考えたり、目標が何か、今どうするとよいのかを考えるという方法はとてもわかりやすかったです。

## スポーツ組織と連携・協力した人権啓発活動事業

## 冠協賛試合を開催しました

横断幕の掲出やインフォメーション、啓発グッズの配布などを通じて、新型コロナウイルス感染症に伴う差別問題や児童虐待、ハラスメントなどについての啓発を行いました。

高知ファイティングドッグス  
vs 香川オリーブガイナース

実施日：令和2年10月20日(火) 18時～  
 場所：高知市営球場 / 来場者：221名

高知ユナイテッドSC  
vs MIOびわこ滋賀

実施日：令和2年11月8日(日) 18時～  
 場所：春野総合運動公園陸上競技場 / 来場者：496名



2021年

1月24日(日) 14:00～16:00 ※開場13:30～

講演会

令和2年度人権啓発研修 第3回ハートフルセミナー

講演会「インターネットと人とのかわり合い  
～突然、僕は殺人犯にされた～」

参加費無料  
 定員100名(予約優先)

※定員に達した場合は、受付を締め切る場合がございますのでご了承ください。

講師 スマイリーキクチ 氏(タレント)

会場 高知県立人権啓発センター  
6階ホール

## 講師紹介

1972年東京都北千住生まれ。1993年より漫才コンビ「ナイトシフト」として1年半活動後、コンビ解散。現在は、毒舌漫談スタイルのピン芸人としてテレビ・ラジオ等で活躍中。1999年 身に覚えのない事件の殺人犯だとネット上で書き込まれ、言われなき誹謗・中傷を受け続ける。2011年 著書『突然、僕は殺人犯にされた～ネット中傷被害を受けた10年間～』を発売し話題に。お笑い芸人として活躍するなか、自身の体験をもとに、ネット犯罪の恐怖、その対策などについて各地で講演活動をしている。



お申込み・お問合せは…

公益財団法人 高知県人権啓発センター 〈開所時間〉月～金 8:30～17:15 (祝祭日・年末年始を除く)  
 TEL 088-821-4681 FAX 088-821-4440 Eメール center@kochi-jinken.or.jp

## じんけんライブラリー情報

じんけんライブラリーでは、  
 図書(専門書からコミックまで幅広く所蔵)や  
 DVD・VHS、人権啓発パネルの貸出を行っています。



## 新着図書紹介



『ガチガチの世界をゆるめる』  
 澤田 智洋(世界ゆるスポーツ協会代表理事)著(百万年書房)  
 「目が見えるor目が見えない」「メガネをかけているorメガネをかけていない」「太っているor痩せている」と同じくらいの違いとして存在する世界。お互いの差異を、面白がれる社会。そんな社会をめざして、「ガチガチの世界をゆるめる」ことに全力を注ぐ著者が考えたのが「老・若・男・女・健・障」(著者の造語)誰もが参加できて楽しめる、ゆるスポーツ。「500歩サッカー」「イモムシラグビー」など、世界ゆるスポーツ協会は80競技以上のゆるスポーツを開発。そして、スポーツだけでなく、音楽をゆるめる、働くをゆるめるなど、「普通」だと思っていることをゆるめることを提言。心のゆるめ方について考えたい1冊。



『あなたのまわりの怒っている人図鑑 事例に学ぶアンガーマネジメント』  
 安藤 俊介 著(飛鳥新社)  
 自粛警察、ネットいじめ、パワハラ…。各地で怒りのパニックが発生している。なぜイライラして怒りを発生させるのかを考察し、日常生活で目にする様々な「怒り」の事例と対処法を紹介。怒りタイプ・チェックテスト付き。

## … 視聴覚教材 利用アンケートより

- 研修実施時に話題の教材があって嬉しいです。
- 自分のこと、じんけんのことを考える時に利用させていただいています。子どもたちには、視覚支援(見えるもの)があった方がわかりやすい(感じやすい、響きやすい)ので、今後もよろしくお願いします。

## 「じんけんライブラリー検索」はこちら

所蔵図書・DVDの検索ができます。ぜひご利用ください。  
<http://www.kochi-jinken.or.jp/lib/>



## おすすめコミック紹介

『こころのナース夜野さん』(1)(2)  
 BIG SPIRITS COMICS  
 水谷 緑 著(小学館)  
 「心の病氣」ってなんだろう?言葉にならないSOSと向き合う、精神科ナースの物語。取材に基づくフィクション作品。



## 新着DVD紹介 (2020年度制作作品)

『考えてみよう 差別の歴史③ 近世の差別と被差別民の暮らし』  
 (21分/映学社)  
 豊臣秀吉の刀狩と検地政策/宗教改め帳/解体新書の陰で/渋沢一揆～権利の主張、など

## 女性活躍・ハラスメント規制法が施行されました

『パワハラのない風通しの良い職場をめざして～ハラスメントを生まない職場のコミュニケーション～』  
 (34分/自己啓発協会映像事業部)  
 1. これってパワハラなの? 2. 職場のハラスメントとは 3. 6つの類型とパワハラの判断基準 4. パワハラと受け取られない適切な指導方法 5. ハラスメントを生まない職場のコミュニケーション

『職場のパワハラ対策シリーズ①パワハラ対策 オフィス基礎編』  
 (32分/企画:職場のハラスメント研究所 制作:アスバグリエイト)  
 改正労働施策総合推進法(パワハラ防止法)とは/パワーハラスメントの定義、パワハラ3要素と6類型

人権に関するいろいろなテーマの本や絵本、映像があるよ!  
 興味をひかれた本を見つけたら、  
 読書スペースでゆっくり読んでいくこともできるよ。



じんけんライブラリーのご利用案内はこの裏面へ



NEWS  
1

## 令和2年度人権ふれあい支援事業 6団体への支援が決定しました

高知県内のNPOやボランティア団体及び民間の団体などが人権に関する啓発や研修の事業を行う場合に、その一部を支援しています。

- いのちつなぐ【映画「プリズン・サークル」上映会とお話会】
- (福)すずめ福祉会 すずめ通所センター【障害福祉の啓発】
- 四万十市立中筋小中学校PTA【人権落語会】
- 日高村立日下小学校PTA【人権講演会】
- 日高村立日高中学校PTA【人権講演会】
- 認定NPO法人高知こどもの図書館【ふれあい交流】

NEWS  
2

## こころんの紙芝居を 県内31カ所の図書館に お届けしました！

オーテピア高知図書館や高知こどもの図書館など県内31カ所の図書館でも、こころんのオリジナル紙芝居「こころんといっしょにまちたんけん」の貸出が始まります。ぜひご利用ください。



## ご利用案内

出張  
します

### 人権研修のための 出前講座

講師派遣料無料

自治体や地域住民・企業・団体などが実施する様々な研修や学習の場に、講師を派遣します。多彩なテーマやプログラムがあります。

貸出  
します

### 「こころん」の 着ぐるみ・紙芝居

利用無料

人権について楽しく学び、身近に考えてもらえることを願い、こころんの着ぐるみやオリジナル紙芝居とパペットのセット貸出しを行っています。

オリジナル紙芝居+パペット ▶



6F

### ホール (収容人員 270名 机併用の場合は180名)

講演会、研修等のイベントにご利用ください。

利用時間 9:00～21:00 (年末年始を除く)

基本使用料(平日)			平日時間外	土・日・祝祭日
午 前	午 後	全 日		
9:00-12:00	13:00-17:00	9:00-17:00	1時間あたり	
8,650円	11,570円	18,210円	4,330円	

● 冷暖房使用料 … 1時間 / 620円

● 時間区分には、準備・片付けに要する時間を含みます。

※ 2021年(令和3年)1月28日～2月28日の間、  
照明設備工事のため、6階ホールはご利用  
いただけませんので予めご了承ください。



6F ホール

5F

### じんけんライブラリー (利用無料)

人権に関する図書、視聴覚教材、パネルの貸出を無料で行っています。

ホームページ内の「じんけんライブラリー検索」では人権課題別の蔵書検索もできます。

利用時間 月曜日～金曜日(祝祭日・年末年始を除く) 9:00～17:00

利用方法 ● 初回ご利用の際に、利用カードを発行します。  
● 直接ご来館できない場合は、送付もいたします。(送料は利用者負担)

	図書	ビデオ・DVD	パネル	団体図書
貸出限度	5冊以内	2本以内	3セット以内	50冊以内
貸出期間	2週間以内	2週間以内	1ヵ月以内	1ヵ月以内



### 団体図書貸出(こころんブック便)について

小・中学校、高等学校ほか、地域や団体、イベント開催などにあわせて、様々な人権問題についての図書の団体貸出を行っています。ご希望の図書について、お気軽にご相談ください。



5F じんけんライブラリー

詳しい情報は  
ホームページを  
ご覧ください!



kochi-jinken.or.jp

4F

### 視聴覚室 (利用無料/収容人員 48名)

人権に関する研修等のにのみ使用できます。

「こころん」は  
高知県人権啓発センターの  
マスコットキャラクターです



公益財団法人

高知県人権啓発センター

ホームページ

www.kochi-jinken.or.jp

〔事務局〕〒780-0870 高知県高知市本町4丁目1番37号 高知県立人権啓発センター 5階  
TEL: 088-821-4681 / FAX: 088-821-4440 / E-Mail: center@kochi-jinken.or.jp  
〔開所時間〕月～金 8:30～17:15 (祝祭日・年末年始を除く)



●とさでん交通 バス・路面電車「高知城前」で下車・徒歩3～5分